

補助金・交付金チェックシート (No. 1)

補助金名 (交付金名)	北海道立函館美術館特別展開催補助金	開始 年 度	昭和 6 1 年度
----------------	-------------------	-----------	-----------

団 体 名	北海道立函館美術館特別展実行委員会
-------	-------------------

助成の根拠既定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則
-------------------------	-------------

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	北海道立函館美術館は、昭和 6 1 年の開館以来、毎年特別展を開催し、国内外の優れた芸術作品を鑑賞できる機会を市民に提供している。
目 的	(目 的) 同美術館の特別展の開催は、本市の文化芸術の振興・発展に大きく寄与するものであり、美術館活動の円滑化が図られる。
・ 効 果	(効 果) 美術館の誘致は市民の長年の念願であり、昭和 6 1 年度の開館当時から市民の関心は高く、特別展開催を通じて、市民の美術および美術館に対する理解と関心を深めることができ、文化芸術の振興に寄与している。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	自己資金	雑収入		計
		市	その他					
収 入	26 (決算)	1,350	6,000	9,051		4,922		21,323
	27 (決算)	1,350	9,271	3,049		854		14,524
	28 (決算)	1,350	8,420	12,373		3,350		25,493
	29 (決算)	1,215	6,000	8,583		1,874		17,672
	30 (決算)	1,215	7,215	10,196	390	2,164		21,180
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費				計
	26 (決算)	490	232	20,601				21,323
	27 (決算)	282	272	13,970				14,524
	28 (決算)	567	418	24,508				25,493
	29 (決算)	612	275	16,785				17,672
	30 (決算)	384	310	20,486				21,180

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	北海道立函館美術館特別展開催補助金
----------------	-------------------

○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	道立函館美術館は、市の重要な文化振興施設であり、市民に作品鑑賞の機会を提供するだけでなく、子どもから高齢者まで自ら学ぶ意欲を育成する場である。特別展の開催は、市の文化芸術の一層の振興・発展に大きく貢献し、市民の潤いのある心豊かな生活に寄与するものである。
2	必要性（補助しなければならない事業であるか）	☒	☐	市の施設では難しい国内外の優れた芸術作品の展覧会の開催は、文化芸術の一層の振興につながるものであり、補助する必要がある。
3	自主性（自主自立に向け努力しているか）	☒	☐	事業実施にあたっては、新聞やポスター等の宣伝活動に力を入れ、観覧料や物販収入の確保に努めている。
4	有効性（他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か）	☒	☐	事業の性質上、市が主体となって開催することはできないため、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☒	当該補助金は、団体からの要望に基づき、文化芸術の発展に対する事業効果や有効性を確認したうえで、教育政策的な意図を以て支出していることから積算基準を定めていない。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名
(交付金名)

北海道立函館美術館特別展開催補助金

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

○観覧者数により効果を測定する。

(達成状況)

[平成30年度] 奇才・ダリ版画展 7月14日～8月26日 (開館日数: 39日間)

観覧者数 [見込] 9,800人 [実績] 14,694人

[平成29年度] ニッポンの写真そっくりの魔力展 6月10日～8月20日 (開館日数: 62日間)

観覧者数 [見込] 9,800人 [実績] 14,102人

[平成28年度] フランス近代美術をめぐる旅展 4月16日～6月12日 (開館日数: 50日間)

観覧者数 [見込] 20,300人 [実績] 16,552人

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)

十分効果をあげている ☒

一定の効果をあげている ☐

効果が疑問である ☐

その他 ☐

(理由)

○今後の方向性

☐ 現行のまま補助を継続

☒ 見直したうえで補助を継続

☐ 廃止

☐ その他

(見直しの内容)

自主財源の確保のために, 収益に見合った事業規模や実施内容の変更について協議を行うと共に, 補助金額の見直しを行う。

(見直しの時期)

令和3年度

(廃止の理由)

(廃止の時期)

(その他の内容)

○終期の設定

終期設定

令和3年度

☐

終期到来により廃止

☒

終期到来時に再検討

次回チェック年度(予定)

令和3年度